

# 令和8年産米の生産指標について

令和8年2月18日  
岐阜県農業再生協議会

米穀の生産調整の円滑な推進については、主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律(平成6年法律第113号)の枠組みの下で、平成29年6月9日に閣議決定された「未来投資戦略2017」を踏まえ、平成30年産以降の国による都道府県別の米の生産数量目標等の配分は廃止された。このため、平成29年4月以降は当協議会通常総会で審議・決定したとおり、米の需給と価格の安定のため、農業再生協議会を主体とした「米政策改革に対応した需要に応じた米生産推進要領」に基づく米の需給調整の仕組みに沿って、地域農業再生協議会が設定する「生産目標」の基となる、令和7年産米の市町村別の生産指標を提示してきた。

一方、昨年からの米不足と米価高騰を受け、政府からは需要に応じた米の増産へ方針転換することが示されたことから、令和8年産米については、要領による需給調整の仕組みを試行的に見直し、市町村別の生産指標について県農業再生協議会から提示しないこととし、地域再生協議会から提出された作付計画に基づき、岐阜県の生産指標を算定することとした。

※なお、当協議会から「生産指標」を提示する仕組みは、当面3ヶ年として令和2年産米の生産指標まで実施し、それ以降は提示の有無や生産指標の算定において簡素化を含めて検討することとしていた。

## ○岐阜県の令和8年産米生産指標

県農業再生協議会は、岐阜県の令和8年産米の生産指標を**104,607トン**と算定。

令和8年産米の生産指標	<b>104,607トン</b>
(対前年生産指標)	+4,177トン (+4.2%)
(対前年生産実績)	+1,407トン (+1.4%)
面積換算値	<b>21,524 ha</b>
(対前年生産指標)	+ 817 ha (+3.9%)
(対前年生産実績)	+ 724 ha (+3.5%)

## ○今後の作付計画作成方法

令和8年産以降については、本年の作付計画提出時に地域再生協議会から出された意見や課題を参考にするとともに、令和9年産以降の国の水田・畑作政策の見直しの内容等をふまえて、検討していく。